

水高図書館だより

令和4年1月7日（金）1月号【No.11】

山形県立加茂水産高等学校図書館

※紹介文はインターネット等を一部引用しています



新刊案内

今年も貸出がスタート！

休み期間中に届いた本の紹介します

- 『免疫力を強くする』宮坂昌之 講談社ブルーバックス
- 『ギネス世界記録 2022』クレイグ・グレンディ KADOKAWA
- 『北前船の近代史 2訂増補版』中西聡 成山堂書店
- 『まるごとわかる！海の科学大図鑑』河出書房新社

『まわりに気を使いすぎなあなたが自分のために生きられる本』Ryota KADOKAWA

『考えたことある？性的同意 知らないってダメかも』子どもの未来社

『こちら横浜市港湾局みなと振興課です』真保裕一 文藝春秋

海外研修生の失踪、豪華客船での幽霊騒動などトラブルに巻き込まれていくお仕事小説

『サード・キッチン』白尾悠 河出書房新社

アメリカの大学に留学した尚美。出身地やLGBTQなどあらゆる学生が集い運営する食堂に出会う。

『親愛なるあなたへ』カンザキオリ 河出書房新社 私はあなたの「爆弾」になる。小説×音楽

『赤と青のエスキース』青山美智子 PHP 研究所 一枚の「絵画」をめぐる、五つの「愛」の物語。

『掟上今日子の設計図』西尾維新 講談社 残り時間9時間！爆破を止められるのか!!

『どうやら僕の日常はまちがっている』岩井勇気 新潮社 ハライチ岩井のこじらせエッセイ

『残照の頂 続・山女日記』湊かなえ 幻冬舎 日々の思いを噛み締めながら、一步一步、山を登る女たち。頂から見える景色は、過去の自分を肯定し、未来へ導いてくれる。

『人は話し方が9割』松永茂久 すばる舎 1番売れている会話の本

『無暁の鈴』西條奈加 光文社 江戸時代、出羽三山を舞台にした無暁の波乱万丈の人生

『星を掬う』町田そのこ 中央公論新社 すれ違う母と娘の物語。2021年本屋大賞受賞後第一作





図書館開館予定表

〈開館時間は急遽変更あり〉

日	月	火	水	木	金	土
1/9 閉館	10 閉館	11 9:45~17:00	12 9:45~17:00	13 10:30~17:00	14 8:50~15:45	15 閉館
16 閉館	17 9:45~17:00	18 9:45~17:00	19 9:45~17:00	20 10:30~17:00	21 9:45~15:30	22 閉館
23 閉館	24 9:45~17:00	25 9:45~15:30	26 9:45~17:00	27 10:30~17:00	28 9:45~17:00	29 閉館
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">3年生返却強化週間</div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; font-weight: bold;">全員返却完了 (予定)</div> </div>						
30 閉館	31 9:45~17:00	2/1 9:45~17:00	2 9:45~17:00	3 10:30~17:00	4 閉館	5 閉館

3年生のみなさんへ

現在本を借りている人は、1月28日まで返却をお願いします。

海技士試験を受けるために参考図書を借りている人は、試験終了まで貸出する予定です。

3月に入ると学校への立ち入りが制限されますので、余裕を持って返却を行うようにして下さい。



どくしょノート

司書のおすすめ本を紹介します。



『母親の小包はなぜこんなにダサイのか』

原田ひ香 中央公論社

親元を離れた経験がある人なら一度は受け取ったことのある、母親から届く小包。私も学生の頃、お米やカップ麺など…近くのスーパーに行けば買えるものばかりの小包を受取ったことがあります。当時はありがたいと思いつつ、なぜこれを入れたのかと思うこともありました。この小説は「小包」がテーマ。

第一話の「上京物語」は母親の反対を押し切って、東京の短大へ進学した美羽（みう）が主人公。慣れない一人暮らしや人間関係に悩んでいた美羽が受け取った母親からの小包には懐かしい味、ビスケットの天ぷらが入っていた。この小包をきっかけに、美羽はきっかけを見つけていきます。

第三話「疑似家族」では業者から買った野菜を「実家から」と偽る女性、第六話「最後の小包」では再婚した母からの愛情たっぷりの贈り物…。小包に詰まっているものはおしゃれなものばかりではないけど、特別なパワーや想いが込められています。これから社会に出る皆さんが実家から届く小包を開封する機会があれば、贈る側の思いも一緒に受け取ってください。